

メッセージ

「2015年被爆70年東京ー広島ー長崎 1500km反核・平和マラソン」及び「2015年反核・平和マラソン」が開催されるに当たり、メッセージをお送りいたします。

1945年8月6日、一発の原爆により焦土と化した広島では、^{おきなご}幼子からお年寄りまで一日で何万という罪なき市民の命が絶たれ、その年のうちに14万人が亡くなりました。原爆は、人々から温かい家族の愛情や未来の夢を奪い、人生を大きく歪める「絶対悪」です。

この「絶対悪」をこの世からなくすためには、脅し脅され、殺し殺され、憎しみの連鎖を生み出す武力ではなく、国籍や人種、宗教などの違いを超え、人と人との繋がりを大切に、未来志向の対話ができる世界を築く必要があります。

私たちは、世界中の誰もが被爆者の体験や平和への思いを受け止め、核兵器廃絶と世界平和実現への道を共に歩むことを期待しています。6,400を超える加盟都市で構成される平和首長会議は、核兵器の非人道性に焦点を当て非合法化を求める動きを着実に進め、2020年までの核兵器廃絶を目指し核兵器禁止条約の交渉開始を求める国際世論を拡大します。

人類の未来を決めるのは皆様一人一人です。「あの日」の^{せいざん}凄惨を極めた地獄や被爆者の人生を、もしも自分や家族の身に起きたらと、皆様自身のこととして考えてみてください。そして、一人でも多くの方々が、ヒロシマ・ナガサキの悲劇を三度繰り返さないように、核兵器もない、戦争もない平和な世界を築くために被爆者と共に伝え、考え、行動してくださることを願っています。そうした意味で、このたび「2015年被爆70年東京ー広島ー長崎 1500km反核・平和マラソン」及び「2015年反核・平和マラソン」が開催されますことは誠に意義深く、その取組に対し深く敬意を表します。

是非とも皆様には、今後とも、被爆者の願いに応え、「絶対悪」である核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現に向け、共に力を尽くし行動してくださることを心から期待しています。

終わりに、「2015年被爆70年東京ー広島ー長崎 1500km反核・平和マラソン」及び「2015年反核・平和マラソン」の御成功と御参会の皆様のご今後ますますの御健勝と御多幸を心よりお祈りいたします。

平成27年(2015年) 1月13日

平和首長会議会長
広島市長 松井 一 實

